

鴨川市教育委員会 9月定例会会議録

1 日 時 平成21年9月25日(金) 開会 午後2時
閉会 午後4時15分

2 場 所 鴨川市天津小湊支所 2階会議室

3 出席委員 (1) 村上 修平 (2) 佐久間秀子 (3) 柏倉 弘昌
(4) 佐々木久之 (5) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 福田 典白 (2) 滝口 悦夫 (3) 増田 勝己
(4) 熊切 隆夫 (5) 高橋 雅史 (6) 渡邊 弘仁

5 委員報告

- ・ 佐々木委員から、運動会での踊り「よさこいソーラン」の服装に関して、祭りの法被を着用していない児童も毎年数名見かけるが、学校で貸し出しするなど、家庭に負担をかけないで揃えられるような工夫をしたらどうかとの報告がなされた。また、全国学力・学習状況調査に関して、年度ごとに出题内容が異なるので適正な比較ができないことが問題であり、効果的な学力テストのあり方を考える必要があるとの意見が出された。
- ・ 柏倉委員から、天津小学校の運動会を参観した感想として、子どもたちが元気に一生懸命競技している姿に感動したこと、「よさこいソーラン」では皆が法被を着て立派に演技していたとの報告がなされた。
- ・ 佐久間委員から、長狭学園の運動会に関して、中学生がきびきびと行動し立派な態度であったこと、徒競走ではどの子も最後まで懸命に走っていたこと、地区対抗リレーや幼稚園の種目等に工夫が見られたが、閉会式でも得点発表などで気持ちを盛り上げる工夫を今後期待したいとの報告がなされた。また、昨年度実施した全国学力・学習状況調査では、保護者の所得によって学力に格差が生じていることが文科省の委託調査で判明したとの報道を聞き、大きな衝撃を受けたとの報告がなされた。
- ・ 村上委員から、安房東中学校の体育祭に関して、工夫された競技が多かったこと、保護者の参加が少ないと感じたこと、小湊小学校の運動会では地域の方の参加が多くにぎやかで子どもたちも一生懸命競技に参加していたこと等について報告がなされた。また、9月はシルバーウィークなど休みが多い中で運動会が行われているが、他の授業への影響が懸念されるとの意見が出された。

6 教育長報告

- ・ 長谷川教育長から、各教育委員より報告のあった運動会に関して、他地域では春に運動会を行う学校が多くなってきていること、各学校では徒競走など子どもたちが全力を出し切る競技、封切り競争など運命性のある競技、そしてリズム運動をバランスよく盛り込むように配慮していること、「よさこいソーラン」を全校リズムで行っている学校は多いが、それぞれの学校に応じたものでよいとされていること、佐々木委員より報告のあった法被の着用については、教育的な配慮がなされるべきであるとの説明がなされた。
- ・ また、学力調査については学力の実態を把握する上で必要であり、毎年度継続することが大切であること、各学校にはそれぞれの結果を分析し課題を明らかにした上で、その対応策を練るよう指導しているとの報告がなされた。
- ・ その他に、9月7日に開会された第3回市議会定例会一般質問で、小中一貫教育の取組の現状と今後期待される効果についての質疑が、また教育委員会関係における議案質疑では補正予算や20年度決算に関わる質疑がなされたことについて報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・ 報告に対する質疑はなく、全員の了解が得られた。

7 議 事

(1) 議案第1号 「鴨川市立小学校及び中学校用自動車取扱要綱の一部を改正する訓令の制定について」

- ・ 増田学校教育課主幹から、鴨川市立小学校及び中学校用自動車取扱要綱を改正し、小中学校だけでなく幼稚園でも使用できるようにすることについて、資料を基に説明がなされた。
- ・ 村上委員から、現在の公用車配置状況についての質問があり、増田学校教育課主幹より各中学校区に1台ずつワゴンタイプの乗用車を配置しているとの説明がなされた。
- ・ 柏倉委員から、他の中学校区の公用車の利用についての質問があり、増田学校教育課主幹より他の中学校区の公用車も使用予定がなければ借りることができるとの説明がなされた。
- ・ 議案第1号については、その他に質疑なく、全会一致で可決された。

(2) 議案第2号 「鴨川市青少年研修センターの愛称の設定について」

- ・ 高橋生涯学習課課長補佐から、鴨川市青少年研修センターに親しみを持っていただくための一方策として愛称を設定することとし、指定管理者である大山千枚田保存会等で候補名を考え、その中から教育委員会内所属長が絞った案「棚田の里 大山みのり館」を愛称とすることについて、資料を基に説明がなされた。
- ・ 柏倉委員から、実入集会所の名称が「実入みのり館」であり、似た名となるが問題はないとの意見が出された。
- ・ 村上委員から、大山千枚田保存会以外に候補名を考えたのは誰かとの質問があり、高橋生涯学習課課長補佐より生涯学習課職員も候補となる名称を考えたとの説明がなされた。
- ・ 議案第2号については、その他に質疑なく、全会一致で可決された。

8 その他

(1) 渡邊指導主事から、平成21年度全国学力・学習状況調査結果について、調査を実施した小学校6年生の国語・算数及び中学校3年生の国語・数学いずれもおおむね良好という結果であったが、「読むこと」や知識・技能を活用して問題を解決していく力に課題があるとの報告が資料をもとに説明がなされた。

- ・ 村上委員から、全国学力・学習状況調査結果の活用について、どのような方針を各小中学校に示しているのかとの質問があり、渡邊指導主事から各学校がそれぞれの結果を分析し、学校としての学力向上策を立案し実践すること及び市の共通課題にも各学校が取り組むことを方針として示しているとの説明がなされた。また、長谷川教育長から各小中学校が主体的に分析し課題を見つけ、対応していくことが大切であるとの意見が出された。
- ・ 村上委員から、学校格差はあるのかとの質問があり、渡邊指導主事から小規模校では一人の正答率の低いあるいは高い児童・生徒がいることによって、平均正答率に大きな差が生じることから、平均正答率を比較してもあまり意味がないとの説明がなされた。また、長谷川教育長から同じ児童生徒が毎年調査を受けるならば平均正答率の変化を見ることは有効な分析に役立つとの説明がなされた。
- ・ 佐久間委員から、活用力に課題があるのは読書など活字への接し方との関係があるのではないかと、また文章題を解くにはコツがあるがそれを子どもたちに習得させる必要がありその研修を教員がしていく必要があるとの意見が出された。

- (2) 滝口学校教育課長から、地域に開かれ地域とともに歩む学校づくりを推進するため、これまでの長狭地区小中一貫校整備推進委員会を発展させる形で学校運営評議員会を設置することになったことについて、資料を基に説明がなされた。
- ・ 柏倉委員から、学校運営評議員会と学校の意見が異なった場合はどうするのかとの質問があり、滝口学校教育課長より、学校運営評議員会は広く意見を聞く場であるとの説明がなされた。
- (3) 高橋生涯学習課長補佐、福田教育次長から、生涯学習課、スポーツ振興課所管施設の利用状況について、資料を基に報告がなされた。
- ・ 佐々木委員から、公民館は営利目的の団体には貸さないことになっているが、地域に役立つものならば柔軟に対応できないのかとの質問があり、長谷川教育長より営利目的の団体には貸さないが、企業等でも営利を目的としない場合は貸すようにしているとの説明がなされた。
- (4) 熊切学校給食センター所長から、調理及び配送の民間委託については財政効果をさらに検討し、平成23年度以降に実施したいこと、また鴨川産の米を9月から給食に使用していることについて、資料を基に説明がなされた。
- ・ 村上委員から、鴨川産の米の使用はコストが高くなるのかとの質問があり、熊切学校給食センター所長より、これまでと同じ程度のコストで使用できるとの説明がなされた。
- (5) 高橋生涯学習課長補佐から町村誌11冊目となる「天津のあゆみ」を発刊し、1冊700円で頒布していることについて、資料を基に説明がなされた。
- (6) 福田教育次長から、教育委員の今後の参加行事予定について、資料を基に説明がなされた。
- (7) 各課長から、「10月の教育委員会行事予定」について資料を基に説明がなされた。また、滝口学校教育課長から、10月の定例教育委員会会議について説明がなされ、10月20日(火)午後2時から開催することになった。

村上委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成21年10月21日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 福田典白